

ひめまつ

48

宇都宮短期大学附属高等学校生徒会

# ひめまつ 目次

(第四十八号)

表紙絵……………井原美枝

題字……………石川木魚

写真……………写真部・編集部

## 随想

須賀学園とともに歩んで七十年……………校 長 須賀 淳……………1

生徒のための生徒会を (生徒会会長に就任して)……………本間ひとみ……………4

一人一人の協力から (任務を終えて思うこと)……………松島愛美……………5

## 〈声〉

### 心の豊かさ

「誰にも何かを与える人」  
「心のおおらかな人」  
「相手を理解する気持ち」  
「ありのまま素直に」

三年 近藤順子  
三年 白井小百合  
三年 白井守  
三年 高橋順

「絶えざる精神的努力」  
「もつとゆとりを」  
「心豊かな人、貧しい人」  
「差別せず誰とも友達」

三年 大塚景子  
二年 酒主浩美  
二年 飯塚敬子  
二年 小林真弓

「真の国際理解のために」  
「人間の心取り戻そう」  
「豊かな日本を考える」  
「失われた心の余裕」

二年 宇都宮奈緒子  
一年 栗原里美  
一年 熊耳悦子  
一年 鈴木智理

「他人を第一に」  
「豊かさを与える家族の力」  
「人間性を育てる」  
「損得抜き純粋さ」  
「優しさに輝く人」

一年 塚田一美  
一年 竹沢愛  
一年 増淵雄介  
一年 渡辺範子  
一年 土田さおり

### \*心に強く響くもの (校内読書感想文入賞作品)

「車輪の下」……………三年 山沢美帆  
「異邦人」……………三年 福原あすか  
「枯野抄」……………三年 山村恭子  
「恍惚の人」……………二年 高沢恵子  
「幸福な死」……………二年 笠井麻紀子

「死を見つめる心」……………二年 高橋佳容子  
「お母さん、ぼくが生まれてごめんさい」  
「かぎりなくやさしい花々」……………一年 根本美里  
「芋粥」……………一年 稲葉智美  
一年 小滝隆義

◆作品集

詩

〔三年〕西山 依恵 〔二年〕細川 祐子 〔二年〕岡村 真希 他

短歌

〔三年〕大栗 光代 〔二年〕古谷 順子 他

俳句

〔三年〕田代 幸江 〔二年〕増淵 梓 〔二年〕磯 尚子 他

☆あとらんだむ

〔三年〕池田 香 木村 美穂

〔二年〕野口 綾 大塚 敦子

〔二年〕糸川 美紀 相馬かよ子 相場佐恵子

〔昨年〕の心構えを反省 〔旧二年〕宇井茂子 〔旧一年〕鈴木俊行 山崎淑子

特集 海外研修体験記

〔三年〕渡邊ルミ子・「ハウイックカレッジ五年」ピアンカ・ブレイク 〔二年〕鈴木由佳

〔三年〕半田水穂・岸田寛子 〔二年〕菊地基之・石田里沙・井原美枝

月関西・四国・大洗・日光の旅

〔三年〕君嶋和樹・坂本和弘・福島康宏

〔二年〕鳥海真希子

〔二年〕平石美奈子・生沢悦子

招待席

築島 亨 饗庭直人・信夫 享・日向野トシ子・荒川茂江・福田繁人・和久 誠

◆わがホームルームの紹介

◆委員会・クラブ報告

◇学園告知板

附属中コーナー

この一年間のおもな活躍・読書感想文コンクール・自由作文コンクール・生徒会新役員・PTA役員 その他

◎平成五年度生徒会活動

◇就職状況

◇職員住所録

◇編集後記

◇奥付



▲姉妹校ニュージーランド・ハウィックカレッジの生徒と仲良く交流（5月9日）



▲校長先生の激励をうけて北の湖部屋に入門した普通科3年石塚晃一君（12月22日）



▲調理科の新生歓迎会（4月23日）



◀恒例行事の県中央公園の清掃奉仕（7月20日）

## 学園の四季

宇都宮短期大学附属中学・高等学校

### 校歌

作詩 菅谷徳太郎  
作曲 野原幸夫

ふたらのたかねをはるかにおおぎ  
にわもにしーげれるひめまつこまつ  
まかなのみのちすじまさきくあれと  
かたみにちかいていそしみはげむ  
おしなびの（の）にわここそげにうでたけれ  
あわれとめうでたこのまなびや

### 校歌

一 二荒の高嶺を 遙かに仰ぎ  
学びの道筋を まさきくあれと  
かたみに誓いて いそしみ励む  
教えの庭こそ げに尊けれ  
あわれ尊 この学びや

二 庭面に茂れる 姫松小松  
変らぬ操は 千代万代と  
かたみに祝いて いそしみ励む  
学びの庭こそ げに芽出度けれ  
あわれ芽出度 この学びや



▲新制服の勢ぞろい—対面式(4月9日)



▲母校に帰った世界一の歌姫、中丸三千繪さん、思い出の教室で(4月15日)



▲校長先生もスリースイ?日光スケート教室で(1月12日)



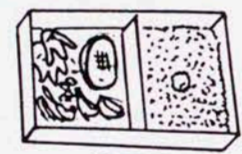
▲名物「エッサッサ」。に出場の裸の群像

### 大運動会 平成5年10月17日



▲「ほんてん」踊んで女子生徒の日光和楽踊り

### 楽しいひとときでした…



▼外来者でにぎわった学校祭(11月6日~7日)

▼生徒と一緒にL.L.教室の団長先生—中国から教育長視察団一行が来校(10月13日)



▲サンドイッチマンまかり通る学校祭(11月6日~7日)



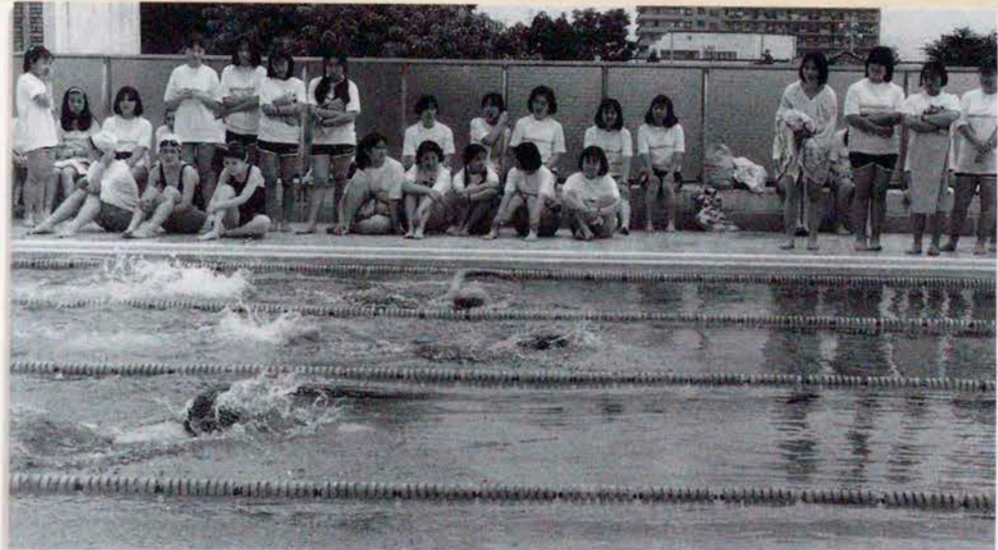
▲力走、また力走



美しいリズムを描いて  
マスゲーム



この瞬間



▲水しぶきをあげて校内水泳競技大会（7月8日）



▲今果立ちゆく——卒業式（3月9日）



▲私たちの生徒会にと——総会（5月28日）

随想

須賀学園とともに歩んで七十年

校長 須賀 淳<sup>あつし</sup>



卒業式の朝

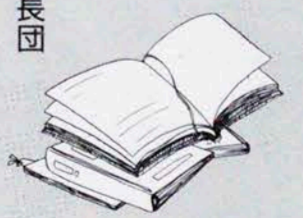
三年生の皆さんは間もなく卒業、一、二年生の皆さんはそれぞれ新しい学年に進級です。今年も日本の政治・経済の情勢はきびしいでしょうが、生徒の皆さんは将来への大きな希望をもって勉学に励んでいることと思います。

私は今年古稀を迎えますが、毎日若い生徒の皆さんと一緒に過ごしていますので、いつも二十代、三十代のような気持ちで、元気一杯、学校の仕事にフル回転です。今の時代では、だれも「人生七十 古来稀なり」などと考えない人はいませんが、古稀のお祝をしてやろうなどといってくれる人はありませんし、私自身もそんな年寄り扱いをされるのは御免です。

たまたま、産経新聞から、栃木版に掲載している「私の物語」というシリーズ物に、私をとり上げてくださるといってお話がありました。私は、「回顧録」などを出すほど偉い人でもないし、今流行

生徒会役員

- |             |              |             |             |
|-------------|--------------|-------------|-------------|
| 副会長<br>風間雅子 | 副会長<br>佐々木綾  | 会長<br>本間ひとみ |             |
| 席務<br>中山裕美  | 席務<br>奈良部雅美  | 会計<br>古川ゆかり | 会計<br>伊藤久美子 |
| 議長団<br>上村真巳 | 議長団<br>相場佐恵子 | 議長団<br>仲光朝陽 | 議長団<br>岩下深雪 |



りの「自分史」を書くような文才もありません。しかし産経の支局長さんがわざわざ来校されて三時間ほど取材をされ、それが産経新聞の一月五日から二十日まで、「私の物語」として連載されました。なかなかよくまとめてくださっているのびつくりしました。

ところで、「私の物語」といっても、その内容は、個人人の物語ではなく、すべて本校の歴史といつてよいでしょう。それは、私が本校の中で生れ、育ち、そして現在まで生徒の皆さんと一緒に生活をしてきたからです。

私は、本校の創立者である祖母須賀栄子のもとで育ち、その後父母と一緒に本校生徒の教育に当たってきたのですから、「私の物語」は祖母の物語であり、父母の物語であり、本校の歴史でもあるわけです。そして私の七十年の歳月は、本校とともに歩んできた七十年であるのです。

私は大正十三年（一九二四）の生れですが、当時の本校は、宇都宮市役所前から大いちょうの間のシンボルロードと、東武鉄道の土手の間を占める広い校地にありました。現在はずかしく私の自宅だけが残っていますが、学校の一角に私たち一家は住んでいたのですから、子どものころの私たちが兄弟は先生方や生徒の皆さんに可愛がられて一緒に過ごしました。

昭和十二年、戦争が始まりますと、本校にはたくさん兵隊さんが泊り、中国大陸へ出征してゆきました。先生方や生徒がお洗濯などの奉仕をしました。戦争が長引き、太平洋戦争に入ると、私も学徒出陣で、「ペン」を捨てて、銃を執る「ことになりました。本校の先生方や生徒の皆さんが校門から道路傍に並んで、日の丸を振って私を見送ってくれました。二度と生きて還ることはないと思うと涙がこぼれました。

幸いにして、昭和二十年八月に戦争が終り、宇都宮に帰ることができましたが、学校も自宅も

空襲で焼かれていたので、父母は焼け残った自転車置場に住んでいました。

生徒たちは、戦争中は軍需工場で働いていましたが、戦争が終って学校に戻ってきました。しかし校舎がありません。県のはからいで、現在の宇女高の校舎一棟と桜小学校の校舎一棟を貸していただいて、十月から授業を始めることになりました。私は東大に在学中の身分でしたが、本校で国語や英語の授業を担当し、また新しい現在の校地・校舎（軍隊の建物のあと）の取得や整備に奔走しました。

東大と本校のかけもちで忙しかった大学生活でしたが、どうやら卒業することができました。で、文部省に勤めて教育の勉強をすることにしました。文部省では大臣秘書官などをとつとめ、見聞を広めることができましたし、教科書課長や初等教育課長などをやって、日本の教育行政の一端になうことができました。

そして、本校にも短大をつくり、昭和四十三年学校に戻ってきました。それから二十数年、本校の発展は、皆さんが御承知のとおりです。とくにその間、私は私学の地位の向上ということに努力をしました。本校生徒の皆さんは、自信と誇りをもって勉強に励んでいます。私も先生方や生徒の皆さんとともに、さらに本校の発展のためにがんばろうと思っています。



校内球技大会の始球式で万里子先生と

験のように思います。  
大きく成長しようとしている新体操部が、常に目標を持って永く続いてほしいと願っています。

(部長 大塚景子)

剣道部

我が剣道部は、安達先生の御指導のもとに、部員数十八名で活動しています。

剣道は、礼に始まり、礼に終るといふように、とても礼儀を重んずるスポーツです。しかし、練習が終れば、部員が明るく接することができる、良い仲間があつた、楽しく過ごせる部活です。高校新人戦のときは、一回戦負けで、とてもくやしさを思い出しました。

今は、このくやしさを、忘れないで一生懸命練習に励んでいます。

これから、冬にかけては床などがとてもつめたくなるため、たいへんです。しかし、顧問の安達先生の御指導のもと、部員一丸となって、これからの練習や試合などをがんばっていききたいと

思います。

(部長 川原崇宏)

美化委員会

私達、美化委員会の組織と主な活動内容を紹介します。

まず初めに、美化委員会は、松本照子先生を代表とする顧問の先生方と、各クラス代表二名の委員で構成されています。

次に、年間を通しての主な活動内容ですが、美化週間の実施、夏休み中の芝の手入れ、大清掃時のワックス配布、中央公園の清掃、各種行事の後始末や清掃などとも内容が濃い活動でした。

特に毎学期行われる美化週間では、各曜日ごとに重点項目を設け、注意事項に基づき、校舎内外の巡視や床のほき方・ふき方、清掃時の服装や態度などについて、各クラスの委員がきれいできていたら〇、不十分であったら×という具合に、マル・バツではつきり採点していきましました。

大部分のクラスでは、整理整頓が成され、日増しに校舎内外がきれいにな

っていくのを実感しましたが、中には適当なクラスもあり、集計するのに私達はとても苦労しました。

以上、これらの多くの仕事を自分なりにこなせてこられたのも、私以上に働いてくれた、副委員長や多くの委員の協力があったからだと思えます。

また、松本先生や諸先生方の取り組む意欲が積極的であったことにより、素晴らしい活動の運営が成されたことに他なりません。

美化委員会というのは、地味で決して目立つ存在ではありませんが、この委員会があつてこそ宇短附高の美化があると云つても過言ではないでしょう。

(委員長 深谷こず恵)

## 学園告知板

### 新体育館完成

記念パーティー開く

須賀学園総合体育館の完成記念祝賀パーティーが十一月六日、宇都宮市のロイヤルホテルで開かれました。内々の催しでしたが出席者はPTA、各科後援会の役員、在校生の保護者、教職員など百五十人を数え、大へん盛況でした。

またこの日は学校祭の期間中だったので、新体育館が一般に公開され、中央女子高や宇都宮北高とのバスケットボールやバレーボールの招待試合があり、スポーツの殿堂の完成を祝いました。なお、それに先だち九月六日には、PTA、工事関係者、教職員、生徒の各代表が参列し、修祓式が厳かに行われました。



本校のますますの発展を祈って万歳三唱

新しい総合体育館は、四階建て(二層式)、外装は須賀栄子記念講堂と同色(茶)のレンガ張り仕上げ。床面積は二階(三、四階は観覧席)メインアリー

ナ(球技用)一五七八平方メートル、一階サブアリーナ(体操用)一〇八八平方メートル、その他玄関ロビー、ミーティングルーム、シャワールームなど合計三六九六平方メートル。

これまでの第二体育館(武道館、屋上プールと内部で連繋しており、すばらしい総合体育館として利用されています。

### 高山副会長らに感謝状

平成五年度PTA総会開く

平成五年度のPTA総会は五月二十二日に大ホールで開かれ、平成四年度の収支決算を承認、平成五年度事業計画案並びに予算案を万場一致で決め、次の役員を選出しました。

なお、議事に先だち、任期満了の副会長高山俊三、会計乙川源一郎、会計監査大久保健三、柳井博義、庄田忠司の皆様へ感謝状と記念品が贈られました。

新役員は次のとおりです。

会長 松岡 祐祥(留任)  
副会長 篠崎キミエ(留任)



同 田村 昭夫(留任)  
塚本美貴吉(留任)  
山崎 守男(留任)  
西川 公也(前中学校  
PTA会長)

会 計 六川 彦次(留任)  
曲山 実男(生教科後援会長)  
会計監査 石河 光男(情商科後援会長)  
岩崎 守(調理科後援会長)  
星野 真一(音楽科後援会長)

相談役 渡辺 衛(留任)  
岡田 喜三(留任)

常任幹事 秋山 行正  
他八十七名

### 高校総体に協力

平成五年度全国高校総合体育大会は八月一日から二十日まで宇都宮市など県内十二市七町の会場で行われました。輝いて見せてください青春の汗in栃木”のスローガンのもとに三十一種目にわたって全国の高校生が覇を競いました。



開会式にお出になられた皇太子殿下御夫妻

都宮市の栃木県総合グランドで開かれた開会式には皇太子さま御夫妻が出席なされ、お言葉を賜りました。快晴の下で、開会式を飾る地元高校生によるマスケゲームが華やかに繰りひろげられましたが、本校からも普通科英進コース、情報商業科、調理科の男女生徒二百人が参加し、男子はぼんてん祭り、また女子は八木節・笠踊りを披露して拍手を浴びました。そのほか本校の先生や多数の生徒が事前準備、期間中の運営などに協力いたしました。

### 中丸さん母校訪問

一九九〇年マリアカラス国際声楽コンクールで、日本人としては初めて優勝し、国際的な活躍を繰りひろげている、本校音楽科卒業生の中丸三千繪さんは、さきごろ写真による自叙伝「声のある時間」を東京の出版社から出版いたしました。

その写真撮影のため四月十五日母校を訪れ、たまたま咲き誇っていた校庭の桜の木の下で、ご自分が学ばれた懐かしい教室などでカメラにおさまり、また須賀校長先生や大島教頭先生など恩師の先生方と思い出話に花を咲かせ、音楽科の後輩たちの前に立って激励してくださいました。

### 手芸展で他校を圧倒

第十五回高校生手芸作品展は十一月八日から十一日まで宇都宮市県庁前の栃木県総合文化センター第一ギャラリーで開かれました。参加したのは十

一校、約百点。本校からは増渕知子さん(三年)ら七人による「手描き更紗ベッドカバー」や井原美枝さん(二年)ら六人の「スウェーデン刺しゅう・テーブルセンター」、半田水穂さん(三年)らの「ペーパーフラワー」などが出品されましたが、すばらしいそれらの作品は断然他校を圧倒しておりました。

### 姉妹校と交流深める

ハワイック から二度目の訪問団

本校との姉妹校であるニュージラランドのマヌカウ市にあるハワイックカレッジから学生訪問団が来校しました。団長のビッキー・ウイリアムソン先生、副団長のガールデン・ジャンニソン先生(ともに女性)はじめ男子二名、女子十六名の合計二十名は五月八日成田に到着、翌九日午前十時、本校で受け入れ先のホストファミリーと対面してそれぞれのホームステイ先に向かいました。本校とハワイックカレッジとは、平

成二年七月二十四日須賀校長先生と本校の職員生徒二十三名が同校を訪れて姉妹校の縁結びをいたしました。ホームステイによる交流と語学の研修を目的に、それから毎年本校の研修団が同校を訪れています。また同校からは、平成三年五月に初の訪問団二十名が来校しており、今回の訪問は二回目です。今回一行は、九日から十四日までをホスト宅で過ごし、その間本校の生徒と机を並べて授業を受け、そのあい間には、茶華道の見学やお稽古、子ども総合科学館、日光江戸村、日光二社一寺、華厳の滝などを見て回りました。十五日からは東京に行き、都内見物さらに二十一日まで京都、広島などを見学して二十二日無事帰国しました。

### 礼状

平成五年度高校入試の県内外中学校に対する説明会が、九月十七日行われました。その折生活教養科の生徒たちが作った、手づくりのクッションカ

パーとクッキーを出席なさった中学校の先生方に差し上げたところ、大へんよろこばれて多数のお礼状をいただきました。次のものはその中の一部です。

親園中学校  
東 正之校長先生より

三年十七組 山崎尚子さんへ

稲穂も黄金色に染まり、ここ那須地方にも実りの秋がやってきました。山崎尚子さんには、お元気で高校生を送っておられることと思います。過日(九月十七日)貴校の学校説明会に出席した折、貴女の「板じめ絞り染め」をいただきました。中間色で、やわらかな感じがよく表われた作品でした。早速クッションを作って使用しております。すばらしい作品をありがとうございました。

高校生活もあと半年ですね。進路は決まりましたか。どうぞ健康に注意され、有意義な高校生活を送ってください。

先ずはお礼まで。

星が丘中学校

長谷川昌子先生より

三年十四組 佐藤睦美さんへ

こんにちは。

九月十七日の宇短大附属高校の入試説明会に出席しました。その折にあな

たの作られた板じめ絞り染めのクッションカバーをおみやげにいただきました。

学校に戻り、さっそく職員室の椅子に敷いてあったクッションにカバーしました。ところが仲間の羨望の的となりまして、家に持ち帰り、洋間で使うことにしました。青と黄色の配色で、部屋が明るくなりました。手づくりの温かさが伝わってくるようです。大事に使います。ありがとうございます。指導して下さいました先生に、よろしくお伝え下さい。

山前中学校

大塚 要子先生より

二年九組 植田直子さんへ

アイスボックスのクッキーを、どうもありがとうございます。私は今日、あなた様の高校を訪れお土産として手づくりクッキーをいただきました恐縮しております。

ここまで作るには大変な思いをなされたことでしょう。申しわけない気持ちでいっぱいです。

私も時々つくりますが、いつもブレインなもので、こんな手の込んだことは出来ません。上品なケースで、開けたとたんに、ただよって来るパターの風味は何とも言えません。

今、直子さんの手を煩わしたクッキーを味わっていますが、手づくりの温かさが伝わって来て感激でいっぱい

です。その感激を伝えたくて直子さんにお願いいたしました。

やがてご家庭を持たれ、お子様がおできになった時には、この様な手づくりのおやつで育てられるすてきなお母

様になられることでしょう。

まずは右御礼まで

平成五年九月十七日

日光中学校

本間 政和先生より

二年十組 阿部衣子さんへ

前略

九月十七日の入試説明会に出席したのですが、その時いただいたお土産の「アイスボックスクッキー」は、阿部さんが作って下さったお菓子で、大変おいしくいただきました。ありがとうございます。

これからは更に精進され、その目的を果たされます事を祈っています。阿部さんのこれからの一層の御活躍を祈念し、御礼のことばとします。がんばって下さい。

栃木東中学校

渡辺 康子先生より

一年十組 大淵 恵さんへ

秋の気配が日ごとに身近に感じられる季節になりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

先日宇短大附高の入試説明会に出席し、おみやげとして大淵さんの板じめ絞り染めのクッションカバーをいただきました。家に帰り、さっそく何に使用するかと考えましたが、すこし古くなった車のクッションのカバーと取り換えてみました。

赤とオレンジのきれいな絞りで、見ちがえるような新品になりました。とてもうれしく思っています。

これからの高校生活で、さらに色々なことを身につけていかれることを心から祈っています。ありがとうございます。

落合中学校

大嶋 久美先生より

二年十一組 田谷美由紀さんへ

朝夕に肌寒さを感じ、山々が色づき始め、秋本番となってまいりました。

先日、あなたの学校説明会に伺いました。そして帰りに、あなたが作られたクッキーをおみやげにいただきました。手作りの味がして本当においしかったです。学校に戻り、先生方みんなでいただき大評判でした。本当にありがとうございます。

これからも、高校生活に一生懸命励んで下さい。お礼まで。

敬老の日に贈り物

生徒会から六百名に

すでに学校新聞「若鮎」18号でお知らせいたしましたように、生徒会では昨年の敬老の日に、生徒、教職員の方々の同居なさっている七十歳以上のお年寄り六百名に、お盆付き菓子鉢をプレゼントいたしました。

大へんお喜びになられた方々からお礼状が生徒会に寄せられました。

拝啓

宇短附の生徒会の皆様、この度は

御心にかけれられ私共年寄りに、何よりの記念品をお届け下され本当にありがとうございます。いろいろな物の豊富な時代ですが、皆様方のこうした温かいおもいやりは、私共年寄りにとっては何よりのうれしい贈り物でございます。

孫娘から頂戴いたしました。とても素敵なお菓子鉢で、これから一生思い出として大切に使用させていただきます。ありがとうございます。

皆様方も、いよいよ来春は御卒業です。それぞれ大きな夢をもって立派に社会に羽ばたいてゆかれるように、お祈りして居ります。私も今年七十才になりました。お陰様で健康で毎日病人の看護に当たって居ります。現役で毎日元気に働いて居ります。

ですから孫娘にもお小遣いもあげられるし、自分自身も、お買物をしたり、人生がとても楽しいですよ。

健康で働く意欲があれば七十才でも若い方に負けずに頑張ってゆかれます。本当にありがたいことです。

どうぞ若い皆様方、日頃学校で、先生や先輩の方にお教え頂いた知識や教

養を存分に發揮されて、宇短附の生徒の皆さんだったと、流石に：といわれるように頑張ってくださいませ。  
私の孫娘も、とても気立ての良い、いい孫娘で、おばあさんとして自慢して居ります。やっぱり宇短附の先生方のおかげでしょうね。ありがとうございます。

今日は初めての敬老の日で、皆様のすてきな贈り物、最高でした。心をこめて厚く御礼申し上げます。  
宇都宮市戸祭町一三三〇

中嶋 くに拝  
(三一五小池宏美さんの祖母)

謹啓  
生徒会の皆様には益々の御勉勵のほど心より喜び申し上げます。  
このたびの敬老の日には皆様の真心こもる記念品をお贈りいただき誠に有難く深く感謝の意を表します。  
私達はこれからも健康に留意して、皆様から喜ばれる老人像を目標に老いて益々の意気で、楽しい日々を過ごさ度く思っています。  
先ずはお礼のことばまで申し上げます

す。

九月十八日  
宇都宮市幸町一十二

敬白  
神山 敏夫  
神山 スミ

二仲  
横浜の二男坊のところに十日ほど行って居り、礼状おくれたことをお詫びいたします。  
(三の二三 神山敏郎君の祖父母)

謹啓

十五日朝、孫の大吾よりうやうやしく「敬老の日おめでとうございませ。これ学校からです」と差し出された物を見て「なあに」と私共はびっくり致しました。封筒をあらためて見ましたら、御校の名前を拝見致しまして、うれしくて、うれしくて大感激で御座居りました。  
何よりのお品を頂戴いたしましたので、本当に有難う御座居りました。厚くお礼申し上げます。  
末筆ながら御校の益々のご発展と

皆々様の御健勝をお祈り致します。

平成五年九月十五日  
宇都宮市鶴田町三三五九

小林 栄一  
ミツ  
(二の二 小林大吾君の祖父母)

年齢を重ねますと、コミュニケーションが薄くなりがちです。このたびは貴校の生徒さんより丁寧なお祝いの言葉とともに「お盆菓子鉢」を記念としてお贈り頂き誠に有難く厚く御礼申し上げます。  
若鮎のようなビチビチした生徒さんに励まされますと、生きる喜びを感じ、老いの身にも力が湧いてくる感じがいたします。

ここに重ねて厚くお礼申し上げますとともに、生徒の皆さんも勉学に運動に励まれ、来るべき栄冠は皆さんの頭上に輝きますよう祈ってやみません。  
平成五年九月十五日  
宇都宮市日の出二一五〇四  
外口 春吉(八十六才)  
タマ(八十才)

(二一外口慶樹君の祖父母)

一層訓練に励むことと存じます。  
有難うございました。

敬具

平成五年十月二十九日  
宇都宮ライオンセンター理事長  
岡村 良一

宇都宮短期大学附属高等学校校長  
生活教養科  
須賀 淳様

- 一の八 持田利佳子様
- 野口 由香様
- 小原みわ子様
- 関谷 智恵様
- 田中由希子様
- 鱒淵 香様
- 一の九 藤原 聡穂様
- 一の十 青木佐知子様
- 一の十一 幸野 寧子様

桜小より

宇都宮市桜小学校(鈴木辰七郎校長)では、さきごろ第二回桜ウォッチングを行い、本校も訪問先の一つになり多数の同校児童の皆さんが来校されまし

前略

この度は思いがけず生徒会の皆様からお心こもった温かいお手紙と可愛らしい絵柄のお菓子鉢をお贈り戴き、誠に有難く心から御礼申し上げます。  
若い皆様方のお心にお答えするためにも、これからの日々を健康に留意して余生を送ってまいります。

高校生の皆様も、病気や事故に気がつけられ、二度とない青春時代を有意義にお過ごしなされますようお祈り申し上げます。  
本当に有難うございました。

九月十五日

日光市所野一五四一―三三七一

西尾 君枝  
(二一五加納梓さんの祖母)

エプロン贈る

生教で手づくりの品

生活教養科では創立者須賀栄子先生のご命日である十月十四日に、恒例となっている手づくりエプロン百点を下野新聞社を通じて、宇都宮市内の福祉

た。その時のお礼状です。

宇短附の先生へ

この前は大変お世話になり、ありがとうございました。一番うるさかった野沢君(ピアノをひいた子)がとてもお世話になりありがとうございました。家のおばあちゃんも宇短附の出身で、当時の名前が「須賀学園」と言っていました。また機会がありましたら、おじやますので、その時はよろしくおねがいします。

桜小学校六年

四十二班 班長 田村 雄大

宇短附の先生方へ

十月五日の桜ウオッチングの時はいろいろとお世話をして下さって、ありがとうございます。

私は一度でいいから、須賀栄子記念講堂と体育館に入ってみたかったです。でももうれしかったです。

高級なピアノをひかせていただいていたありがとうございます。

でも下手でごめんなさい。もつともっと音楽や勉強に私はがんばりま

す。先生方も、もつともつと宇短附をりっぱな学校にしてください。

桜小学校六年

四十二班 副班長 佐藤磨美子

宇短附へ行って

私は、ときどき宇短附を見ることがありました。けれど見たためではぜんぜんわからないことがたくさんありました。

たとえば、私がずっとかわっていないと思っていた体育館がとても新しくなったことです。

中にはバスケットができる所や、何でもできそうな所もありました。

もう一つ、とてもおどろいたことがありました。宇短附の屋上がプールだったことです。それにはほんとうにおどろきました。

いろいろきいて、とてもいろいろわかりました。

桜小学校五年

横田 美保

### 投書

前略ごめんください。

実は去る六月十九日土曜日の夕方六時頃、一きわ激しく雨が降り出した時玄関のチャイムが鳴りました。夕食の支度の忙しい最中、何かと出てみたところ髪も制服もぬれたまま、男子生徒が立っていました。

「車庫の車のライトがついたままです。あのままにしておくと、バッテリーが上がってしまいますので、お知らせします」とのこと。

車のライトがつかって放しになっていたことよりも、この雨の中をわざわざ他人の家の玄関まで来て知らせたこと、その行為に驚きと感動で胸がいっぱいになりました。

見れば傘は自転車サドルに差しかけて、自分は傘なしで私の家の玄関まで来たのです。簡単なことかもしれませんが、この忙しい世の中、人の事などかまわれないのが普通です。しかも夕方の方の心せわしい中、そしてすごい雨の中……とても出来ることではありません。学校名をお聞き致しましたところ、

貴校とのこと。立派な生徒(多分高校生かと思いますが)が在学している貴校の教育のすばらしさに感動いたしました。あまり雨がひどいので、長話も失礼と思いますが、お名前までは聞きそびれてしまいました。すばらしい生徒がいることをお知らせしたくお便り申し上げました。

かしこ

平成五年六月二十三日

宇都宮市緑二二二一三

相田嘉寿子

宇都宮短期大学附属高等学校

校長 須賀 淳様

教育実習を終えるにあたって

川島 聡史

教育実習が始まった六月十四日、私は果たして自分には人に英語という「物」を教えるだけの力があるのだろうか、そしてホームルームでは生徒達と仲良くやってゆくことが出来るのだろうか、そんなことを考えていた。そ

して非常に長く感じられるであろうと思っていた二週間をどのように乗りきろうか、と悩んでいた。しかし実習が終了した今、この二週間を振り返ってみると、本当に瞬間に過ぎてしまいい自分の心の中に存在するのは、もつと長い間実習を行っていた、そして生徒達に別れを告げたくない、という惜別の念である。ということは、この実習が自分にとって有意義なものであったということの裏返しなのであろう。

となるのか、ということを分かり易く解説することが、実習開始当初の自分にとつては大変困難なことであった。これは自分の力に自信がなく、基本的な知識の欠落のために起こった事である。今後一層努力を重ね、自分の分かることはすべて人に分かり易く教えられ、という理想に向けて精進していきたいと思う。

次に、生徒との交流という面から見ると、自分で当初考えていた以上に生徒達と多くの交流を持つことができた。大変思い出深い実習となった。自分がホームルームを担当していた一年二組の生徒達は本当に素直な子ばかりであったし、また他の授業実習を担当したクラスの生徒達からも積極的に声をかけてもらい、交流を持つことができ

た。自分よりもずっと若い生徒達と一緒になって同じ話題について話す、そんな型式の会話が大変楽しく感じられたのである。生徒達と出来るだけ多くの対話の場を持つことによって、生徒達が今何を考え、何を求めているかが大変良く分かった。そして感じたことは、生徒にも実に様々なタイプの人間

がいて、ということである。どの生徒に對しても同じように公平に接することは大事ではあるけれど、それに加えて生徒各々の個に応じた対話というものを心掛けるようにしなくてはいい、ということが頭に残った。

教職を目指す私にとって、この二週間の教育実習は、素晴らしい思い出となると同時に、大変良い勉強になった。これも校長先生をはじめとする諸先生方の御指導・御協力があったからに他ならない。この場を借りて、深く御礼を申し上げたいと思う。(早稲田大学)

黒崎君に特別賞

NHK青春メッセージに出演

NHK主催の「94年青春メッセージ」に三年一組の黒崎英典君が出演し見事関東甲信越大会特別賞を獲得しました。その模様は十二月十一日午後五時からNHK総合テレビで放映されました。当日の出演者は千人余の中から予選を通過した十名で、黒崎君は「わたしの恋」という題名で、好意を抱く女

友達をぎょうざを食べに誘ったが、あえなく断られるというユーモラスな内容、惜しくも、全国大会出場は成りませんでした。特別賞三名のうちの一に選ばれたものです。

一位に石川洋子さん(三二一五) 似顔絵コンクール話題呼ぶ

編集委員では秋の学校祭に先生方の似顔絵コンクールを行い、大へんな人気を集めました。これは担任や教科でお世話になっていた先生をモデルにして、最もその特徴が描かれているものを在校生や来校した保護者、卒業生に投票していただくという催しです。各クラスの「イラストレーター」が腕を振りましたが、入選した作品の執



似顔絵コンクール 話題を呼んだ先生の似顔絵



1位 中山 進先生 (3-15 石川 洋子)



2位 古郡先生 (1-16 近江沙耶香)



3位 木嶋先生 (3-4 田村 桂)



4位 黒子先生 (3-7 若月 智之)



4位 伊沢先生 (1-8 本郷 奈美)

筆者とモデルになった先生、さらに投票した人たちにも抽選でそれぞれ賞品が贈られる「賞品三重賞」とあつて開催前から話題を呼び、二日間の期間中会場は終日人だかり。応募作品六十八点、投票総数六百三十七票。上位入選者は次のとおりでした。一位中山進先生(二一七票) 石川洋子(三一五) 二位古郡先生(四二二票) 近江沙耶香(一一一六) 三位木嶋先生(三五票) 田村 桂(三二四)

▽四位黒子先生(三二票) 若月智之(三一七)、同伊沢雪夫先生(三二票) 本郷奈美(一一八) 六位江田先生(二七票) 斎藤千鶴子(二一四) 七位森嶋先生(二二票) 伊藤史江(三一八) 同大崎先生(二二票) 大嶋 龍(一一二) 九位金田先生(二二票) 坂本さと子(二一〇)

石塚君(三一五)が北の湖部屋へ

普通科三年五組の石塚晃一君が北の湖部屋に入門しました。それに先だつて十二月二十二日の二学期終業式の日、石塚君は両親と共に校長先生に入門を報告いたしました。一月の東京場所から「職場実習」を兼ねて出場しています。



## 校 史 と 校 章

本学園は、平成2年11月に創立90周年を迎え、さらに100周年に向けて発展充実の歩みを進めています。創立者、須賀栄子先生は、女子に最も適切な技芸を教授し、その時代と境遇とに順応すべき実際の婦人の養成を教育の主旨とし、共和裁縫教習所から、共和裁縫女学校、宇都宮須賀女学校、宇都宮女子高等職業学校と校名を改め、発展させてゆかれました。その後を須賀友正先生が受け継がれ、学制改革により、宇都宮須賀高等学校となり、さらに、宇都宮短期大学を設置し、高校も宇都宮短期大学附属高校と改名されました。友正先生の後を受け継がれたのが、現校長先生でいらっしゃる須賀 淳先生です。先生は宇都宮短期大学附属中学校を設置し、ますます学校を発展させて、現在に至っております。

我が校の生活目標である「一人は一校を代表する」という言葉の意味は、生徒一人一人が、それぞれに、本校生徒としての価値を知り、その価値を自覚することこそ、人間の大きな喜びであり、幸福への素材であるとし、学校はそのあり方を勉強する場であるというのが、須賀栄子先生のお考えです。私たちは現在、この言葉を胸に、本校生徒としての価値を認識し、生活しています。

本校には、現在に至るまで、いくつかの校章がありましたが、現在使われている校章の由来は、創立者須賀家の祖先が武士の旗印として使っていた、「ス」の文字を3つ組み合わせたものです。

「ひめまつ」第四十八号(非売品)  
平成六年三月九日印刷発行

宇都宮市陸町一番三五号

宇都宮短期大学附属高等学校

編集人 頼 問 和久 誠

発行人 生徒会長 本間ひとみ

印刷所 宇都宮市鶴田町二三五九の一

ヤマゼン印刷株式会社

〇二八六(四)一一一

印刷人 山本 征一郎

発行所 宇都宮短期大学附属高等学校生徒会  
〒320 TEL〇二八六(四)六一一三番